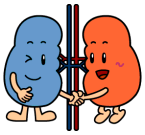
第５号 2017 年７月発行

那覇市 CKD(慢性腎臓病)対策推進　ＮＥＷＳレター Vol. 5



那覇市ＣＫＤ４８（シーケーディーフォーティーエイト）（病診連携事業）がスタートして１年、少しずつ連携が進んでいます。

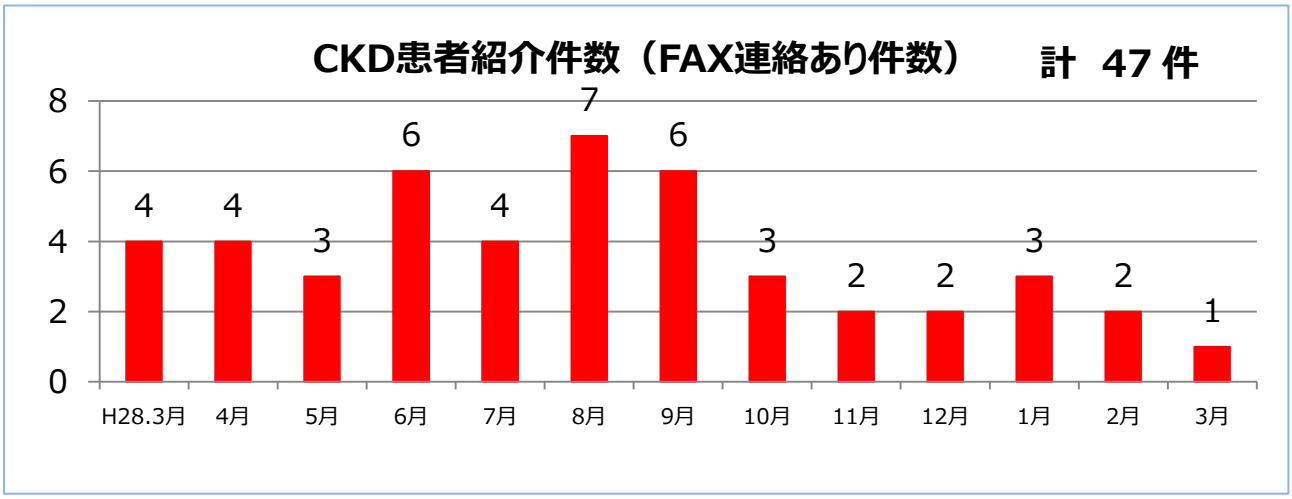
昨年度のＣＫＤ対策に関する主な取り組みをご報告します。

◆第２回 CKD 病診連携推進会議を開催しました◆

平成 29 年 2 月 16 日(木)、第２回 CKD 病診連携推進会議を開催しました。
委員として、田名毅（首里城下町クリニック第一)、宮良忠・糸数昌悦(那覇市立病院)、真栄城修二(まつお TC クリニック)、友利博朗（八重洲クリニック）仲宗根正(那覇市保健所参事)の 6 名にご出席いただきました。（敬称略）
※比嘉啓(首里城下町クリニック第二)、屋宜宣治(屋宜内科)、新城真紀(全国健康保険協会沖縄支部保健師)、宮城輝（沖縄県腎臓病協会副会長）の各委員は所用のため欠席。

◆なはCKD４８（シーケーディーフォーティーエイト）、開始から１年間のＣＫＤ病診連携数について◆

ＣＫＤ登録医から腎臓診療医への紹介件数（※市に FAX での報告があった件数）



CKD 患者の紹介件数は、**３月末までの集計で４７件**です。月に 3～4 件、多いときで 6～7 件ですが 10 月以降は少なくなっています。「ＣＫＤ病診連携がうまく稼動しているか」を評価するため、しばらくこの FAX 連絡票を継続したいと考えております。H28 年 10 月実施のアンケートでも「ＦＡＸ連絡が面倒」との意見が寄せられましたが、これに替わる把握方法を検討するまで、ご協力よろしくお願い申し上げます。後述しますが、CKD 登録医へのアンケートでは 82 件の CKD 患者の紹介があったようで、FAX 連絡をいただいた件数より多かったことが判りました。

◆「なはＣＫＤ４８」に関する広報・ＰＲをしました◆

４月・那覇市ホームページで「なはＣＫＤ４８」のページを作成しました。 **那覇市ＣＫＤで検索**

http://www.city.naha.okinawa.jp/kakuka/tokuken/ckd/2015ckd.html

・那覇市医師会報 2016 年春季号にて「なはＣＫＤ４８」の紹介を行いました。

・自治連会報なは　31 号にて「なはＣＫＤ４８」の紹介を行いました。

５月・那覇市医師会会員あて「ＣＫＤ病診連携医療機関リスト」「ＮＥＷＳレター」を送付

６月・那覇市広報紙**「市民の友」６月号**に「なはＣＫＤ４８」の紹介（全世帯配布）

10 月・**「国保健診だより」**に「なはＣＫＤ４８」と「ＣＫＤ登録医」の紹介（全世帯配布）

◆医療者向けの「ＣＫＤ連携講演会」を開催　第１回目◆

平成 28 年８月５日に、**那覇市ＣＫＤ連携講演会**を開催しました。（場所：医師会館４階ホール）**「生活習慣病からの新規透析導入患者減少に向けて」**と題し、筑波大学医学医療系腎臓内科学（教授）**山縣 邦弘**先生にご講演いただきました。医師・コメディカルを合わせると総勢 70 人（ＣＫＤ登録医 12 名、腎臓診療医４名を含む）の参加がありました。ＣＫＤ対策にかける皆様の熱い思いが感じられる講演会となりました。お忙しい中、ご参加ありがとうございました。

ＣＫＤ連携講演会の様子

◆医療者向けの「ＣＫＤ連携講演会」を開催　第２回目◆

平成 29 年３月４日に、**那覇市ＣＫＤ連携講演会**を開催しました。（場所：ダブルツリーby ヒルトン那覇首里城：旧ホテル日航那覇グランドキャッスル）

『糖尿病性腎症による透析を一人でも減らすためにすべきこと－ 開業医・専門医両方の立場から－ 』と題し、近江八幡市立総合医療センター・腎センター顧問　八田内科医院　理事長・院長 八田 告(ハッタ ツグル)先生にご講演いただきました。医師・コメディカルを合わせ総勢 78 人（ＣＫＤ登録医９名、腎臓診療医７名）の参加がありました。

● 講演会の開催に合わせ、講師の八田先生から寄せられた「メッセージ」の抜粋 ●

腎症を含むＣＫＤに対して私はこれまで、地域の先生方からの患者紹介、ＣＫＤ教育入院、そして連携を特に重視してやってきました。その取り組みの成果として、**その後の腎機能悪化抑制効果、緊急透析導入減少、透析までの期間延長**などの実績を報告してきました。基幹病院での体系的なＣＫＤ対策、そして地域の先生方とのキャッチボールは、那覇市での腎症抑制に大きな役割を果たすと思います。

既に沖縄でも取り組んでおられるように、ようやく京都でも糖尿病対策推進事業委員会の下部組織に「糖尿病性腎症重症化予防プログラム小委員会」を設置し、行政を含めて実践に向けた検討を行っています。まだまだ青写真ではありますが、その取り組みの一部を紹介したいと思います。

講演では、近江八幡市立総合医療センター・腎センターが“ＣＫＤ教育入院（保存期腎不全検査教育入院）”に先進的に取組み、腎機能悪化抑制効果などの実績が出ていること、そのことがかかりつけ医からの信頼につながり連携が深まっていることの報告がありました。会場からも教育入院に多くの質問が寄せられ、関心の高さがうかがえました。

ＣＫＤ連携講演会の様子(Ｈ29 年３月４日)

◆市民向けの「ＣＫＤ予防講演会」を開催◆

ＣＫＤ予防講演会

那覇市では、まだまだ認知度の低い「ＣＫＤ」について、正しい知識の普及と市民の意識啓発を目的に、ＣＫＤ予防講演会を年３回開催しています。沖縄県腎臓病協議会との共同で開催し、**腎臓診療医（専門医）**による講演と**透析導入者**による透析の体験談を合わせて行っています。参加された市民の皆さん、熱心に聞き入っていました。

	開催月日	講師(腎臓専門医)	参加人数
1	H28 年７月 14 日(木) 19:00～20:45	南部医療センター・こども医療センター　和氣　亨　先生	54 人
2	H28 年 10 月 27 日(木) 19:00～20:45	那覇市立病院　宮良　忠　先生	53 人
3	H29 年２月９日(木) 19:00～20:45	さくだ内科クリニック　佐久田　朝功　先生	56 人

ＣＫＤ予防講演会に参加した市民の感想

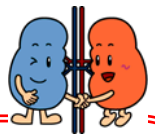
・５年前まで受診していましたが、良くも悪くもならないので放っておきました。その時より、ずっと腎臓の数字が悪くなっています。また病院に行こうと思います(40 代女性)
・今まで腎臓の事を軽く考えていました。体験談を聞いて自己管理をしっかりしようと思います(60 代女性)
・検査を受けても結果の見方がわからなかったです。検査の見方が分かり大変良かったです（60 代女性）
・治療の大切さがやっとわかりました。（30 代男性）

◆「ひやみかち なはウォーク＆健康フェア」にて「ＣＫＤ」をＰＲ◆

平成 28 年 11 月 13 日（日）に、奥武山公園およびセルラーパークにて、「ひやみかち なはウォーク 2016 ＆健康フェア」が開催されました。ＣＫＤに関する正しい知識の普及と市民の意識啓発を目的に「ＣＫＤ」の展示ブースを設け、ＣＫＤの早期発見のためには、「特定健診を受けましょう」と受診勧奨も行いました。

◆「市民公開講座 ～長生きの秘訣は丈夫な腎臓～」に寄せられた市民の声◆

平成 29 年 3 月 4 日(土)自治会館にて「防ごう！沖縄の腎臓病」と題し、市民公開講座が行われました。那覇市ＣＫＤ病診連携推進会議委員である田名毅先生、仲宗根正先生が講演されました。参加された方が、慢性腎臓病（ＣＫＤ）について、どのようなことを心配しているのか、困っているのか、どのような疑問をお持ちなのか、ＣＫＤ対策に関わる皆様と共有するため、アンケートより抜粋して載せています。診療の際、同様の質問を受けることもあるかと考えます。ご回答いただくことで、市民のＣＫＤに関する意識啓発となります、ご協力よろしくお願いします。



＜講演会参加者のアンケートより＞

- 腎臓について、もっと若いうちに知識をつけさせてほしいです。主人も知らないうちに CKD になっていました。家族がどんなに協力しても、本人に危機感が足りず不安で仕方ないです。
- 毎年定期的に尿や血液検査をしていますが、お医者さんの説明があまりないので大丈夫なのか心配です。
- 腎臓病の治療薬は無いと聞きますが、どうして無いのか？開発されないのは何故か？薬がなければどうやって治すのか？
- 何年前か前から蛋白尿が出ている事は知っていましたが、どこの病院へ行けばいいのかわからず今日に至っています。健康診断等で尿検査をしますが、足のむくみがあってもあまり説明は無く、気にしなくてよいのかどうかがわからない。（８０代女性）
- 各種の病により服用を指示される薬と、腎機能に与える影響との関係を判りやすく教えてください。例えば、痛み止めが腎機能に与える影響、血圧降下剤が腎機能に与える影響、糖尿病治療薬が腎機能に与える影響を知りたいです。
- 腎機能が低下していると主治医に言われ、尿が泡だっている事が気になっております。
- 沖縄県は他の都道府県よりも腎臓病患者は多いのでしょうか。多いとすればどうして患者が多いのか。遺伝で腎臓が悪い人は幼いころより注意する点はなんでしょうか。腎臓が悪化する前にわかる症状はありますか。
- 腎臓の機能が 50%と病院で言われましたが、加齢のためでしょうか（79 歳男性）
- 尿蛋白+、血尿+との表示はどういう意味なのか？プラス１は心配するには値しないという意味でしょうか。
- 慢性腎臓病と診断され尿酸値も高めです。どうしたらいいのか？食事について気を付けることは？酒は泡盛なら週１～２回ならいいのでしょうか？

ＣＫＤ対策事務局：那覇市特定健診課 （電話）098-862-0564 （FAX）098-862-4266